

未来は光でおもしろくなる

# USHIO

# 第58期

中間

# 株主通信

[2020年4月1日～2020年9月30日]  
2020年12月発行

## CONTENTS

|                                                                   |     |
|-------------------------------------------------------------------|-----|
| Ushio Now! .....                                                  | P 2 |
| 社長メッセージ .....                                                     | P 4 |
| 事業の概況 .....                                                       | P 6 |
| 特集 IoT/5Gを支えるウシオの<br>最先端半導体向け「光」技術 .....                          | P 8 |
| Topics 殺菌・ウイルス不活化<br>ソリューションCare222®の最新情報/<br>新任社外役員(取締役)紹介 ..... | P10 |
| 決算の状況 .....                                                       | P12 |
| 株主さまとともに .....                                                    | P14 |

## ◆ ウシオとは

1964年に産業用光源メーカーとしてスタートしたウシオは、新光源の開発、独自の光学技術の開発・応用に努め、ユニットや装置、システム、さらには光のソリューションを提供する「光創造企業」へと発展してきました。その光技術は、「あかり」の領域だけでなく、産業や科学技術の先端分野で「エネルギー」として幅広く利用され、数多くの「世界シェア No. 1」製品を誕生させるとともに、今日では、バイオや農業、医療、環境をはじめとした、新しいビジネスフィールドを開拓しています。

## ◆ ウシオのマーケット

### Industrial Process

半導体、フラットパネル、精密機器、電子部品、光化学、印刷、産業機器など

### Life Science

医療、自然環境、農業、海洋／漁業、セキュリティ、エネルギー、宇宙開発など

### Visual Imaging

デジタルシネマ／3D、プロジェクション・マッピング、バーチャルリアリティ（VR）／シミュレーション、監視／制御用映像表示システム、プロジェクター用光源、一般／商業施設用照明、景観照明・演出、ステージ／スタジオ照明・演出、オフィス・ドキュメント用光源など

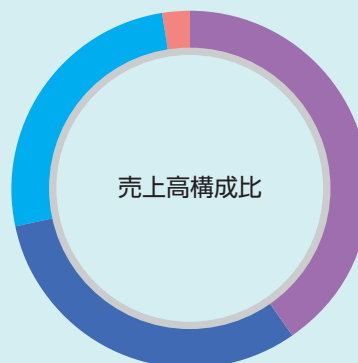
## 業績ハイライト (2020年4月1日～2020年9月30日)

売上高

520 億円

営業  
損失

△10 億円



光源事業

40.5%

光学装置事業

31.4%

映像装置事業

25.8%

その他

2.3%

売上高構成比

## ◆ グループ会社



### 【光源事業】

露光用UVランプは、液晶パネルの供給過剰は継続していますが、前倒し需要があったため販売は増加しました。シネマ用およびデータ用プロジェクター、ハロゲンランプは新型コロナウイルス感染症拡大を大きく受け、需要が減少しました。

### 【光学装置事業】

IoT進展に伴うデータセンター向けサーバー需要の高まりから、次世代半導体の量産ニーズが高まり、EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源の販売が増加しました。液晶関連装置は、投資が一巡したことから販売が減少しました。

### 【映像装置事業】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた映画館休業の長期化による投資意欲減退などから、デジタルシネマプロジェクターの販売が大幅に減少。また一般映像分野でも自粛傾向が継続しており、プロジェクターの販売が大幅に減少しました。

| [光源事業]             |                         | [光学装置事業]                |  | [映像装置事業]※3              |  | [その他]                 |  |
|--------------------|-------------------------|-------------------------|--|-------------------------|--|-----------------------|--|
| 2019.9 ▶ 2020.9 ※2 |                         | 2019.9 ▶ 2020.9 ※2      |  | 2019.9 ▶ 2020.9 ※2      |  | 2019.9 ▶ 2020.9 ※2    |  |
| 売上高※1              | 304億円 ▶ <b>210</b> 億円 ▼ | 180億円 ▶ <b>163</b> 億円 ▼ |  | 317億円 ▶ <b>134</b> 億円 ▼ |  | 17億円 ▶ <b>12</b> 億円 ▼ |  |
| セグメント利益・損失         | 36億円 ▶ <b>6</b> 億円 ▼    | 3億円 ▶ <b>1</b> 億円 ▼     |  | 6億円 ▶ <b>19</b> 億円 ▼    |  | 0億円 ▶ <b>0</b> 億円 ▼   |  |

※1 外部顧客への売上高を記載しています。 ※2 第2四半期累計 ※3 2019年度 まで「装置事業－照明装置他」としていたものを含みます。



# 社長メッセージ

コロナ禍による厳しい事業環境にあっても、環境変化を機会と捉え、2030年長期ビジョンに向けた着実な基礎固めを進めてまいります

代表取締役社長

内藤 宏治

## ◆ 2021年3月期第2四半期の業績について

新型コロナウイルス感染症の拡大(以下、コロナ禍)により、2021年3月期の第1、第2四半期は映像関連市場が大きな影響を受けました。

まずシネマ分野では、全世界の映画館で休業が相次ぎ、一部地域では再開が進んだものの限定的な稼働にとどまり、また、地域によっては再開の目途が立たず依然として不透明な状況が続いていることから、シネマプロジェクター用ランプおよびデジタルシネマプロジェクターの販売は大幅に減少しました。また一般映像分野においても、各国のアミューズメントパークや商

業施設において閉鎖やイベント自粛が相次ぎ、大きな影響を受けました。第2四半期より緩やかに再開傾向にあるものの、投資意欲の減退により、関連する映像装置の販売は減少しました。

一方、半導体やフラットパネルディスプレイおよび電子デバイスなどのエレクトロニクス分野においては、一部でコロナ禍により装置据え付けおよび立ち上げ作業遅延により検収の遅れが発生したものの、5Gの実用化やIoT・AIの活用進展による半導体・電子デバイス市場の需要拡大期待や、フラットパネルディスプレイにおける稼働および設備投資意欲は戻りつつあり、関連

する光源および光学装置事業は堅調に推移しました。

その結果、当第2四半期累計の売上高は前年同期比36.6%減の520億円となり、損益状況は営業損失10億円(前年同期は

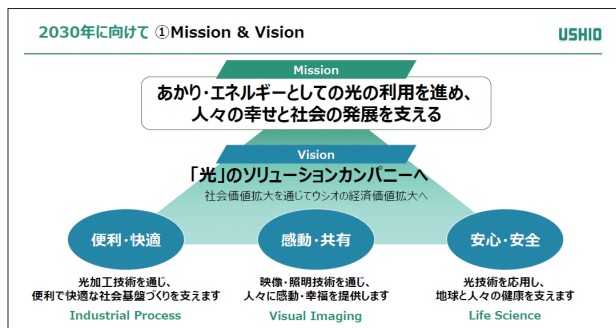
48億円の利益)、経常利益は同93.1%減の4億円、親会社株主に帰属する純損失は19億円(前年同期は30億円の純利益)となりました。

## ◆ 新中期経営計画について

7月31日、当社は新しい「ウシオグループ中期経営計画」を発表しました。その中で、2030年に向けてウシオグループの長期ビジョンとして、“[光]のソリューションカンパニーへ”を掲げ、より大きな社会課題の解決を支える社会価値拡大を通じてウシオの経済価値拡大を目指していくことをお示し、売上高2,500億円、営業利益率12%以上という定量目標を設定しました。まずはその第1ステップとして、新中期経営期間の3カ年は、「基礎固め再挑戦」との位置付けにて、2022年度に必達目標として売上高1,700億円、営業利益率8%超、野心的目標として売上高1,900億円、営業利益率10%超の実現を目指します。コロナ禍のウシオグループへの影響はしばらく続くと想定され、非常に厳しい事業環境のもと推移すると思われますが、そのような状況下でも、攻める戦略として今後の成長ドライバーとなる複数の有望製品(環境衛生分野向け光源やEUV光源、最先端ICパッケージ向け露光装置など)の着実な事業

推進と、防ぐ戦略として固定費削減や生産・販売体制の最適化をメインとした構造改革を実行しながら、長期ビジョンに向け、その先の道筋の明確化を進めてまいります。なお、今後これらの目標を達成していくためには、長期ビジョンの浸透、連帯を強化する組織づくり、そして持続的成長実現のための収益構造の再確立が大きなポイントとなります。中でも私が特に重要だと考えているのが、長期ビジョンの浸透です。ウシオグループが考える長期ビジョンを示し、すべてのステークホルダーの皆様と共有した上で、新中期経営計画で示した各施策の具体的なアクションを起こし、ウシオグループ全員が長期ビジョンに向かって一致団結して目指していくことを、繰り返しメッセージとして発信していきたいと考えています。目標実現のために各事業の方向性や戦略を具体的に示し、ウシオグループの連帯を強化した「連峰経営」により、ステークホルダーの皆様のご期待に応えていけるよう、一丸となって進んでまいります。

### 【2030年に向けたウシオのミッションとビジョン】



### 【第一次中期経営計画の目的とゴール】

2030年に向けて ②新中計の目的とゴール USHIO

| 新中計の目的                                                                                               |         |         |          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------|----------|
| 次の30年を見据えつつ、<br>FY2030に売上高 <b>2,500</b> 億円、営業利益率 <b>12%</b> 以上へ<br>持続的成長実現に向け、収益構造転換の <b>基礎固め再挑戦</b> |         |         |          |
| 新中計のゴール (FY2022)                                                                                     |         |         |          |
|                                                                                                      | 必達目標    | 野心的目標   | FY2019実績 |
| 売上高                                                                                                  | 1,700億円 | 1,900億円 | 1,590億円  |
| 営業利益率                                                                                                | 8%超     | 10%超    | 4.2%     |
| +<br>FY2030に向けての道筋の明確化                                                                               |         |         |          |

※詳細は、「ウシオグループ中期経営計画」([https://www.ushio.co.jp/documents/ir/library/plan/ushio\\_plan2020\\_j.pdf](https://www.ushio.co.jp/documents/ir/library/plan/ushio_plan2020_j.pdf))をご覧ください。

# 事業の概況

## 事業環境

### ◆ エレクトロニクス分野

コロナ禍前のレベルに回復し、新規投資も回復基調

#### ● FPD関連市場

- ・投資主体は液晶からOLEDに移行
- ・韓国の液晶パネル生産減も、中国の稼働は堅調

#### ● 半導体・電子部品関連事業

- ・5G向け投資が堅調も、スマートフォンなどの最終消費財の需要が不透明

### ◆ ビジュアルイメージング分野

コロナ禍により低調に推移

#### ● シネマ分野

- ・上期後半より徐々に映画館再開の動きも、主要地域である北米や中国の稼働は限定的

#### ● 一般映像分野

- ・アミューズメントパークなど商業施設はアジアから徐々に再開も、投資は低調。各イベント自粛は継続

#### ● OA分野

- ・コロナ禍により需要は鈍化

## 光源事業

### 放電ランプ／LED・LD

- 半導体、FPD、電子部品製造装置用光源
- シネマプロジェクター用、データプロジェクター用、OA機器用、照明用および産業用光源



### ハロゲンランプ

- OA機器
- 照明(商業施設、舞台・スタジオ、特殊照明など)
- 産業用ヒーターランプ

### 当期の業績

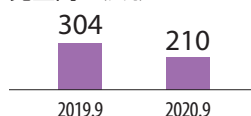
#### 放電ランプ

- 半導体・電子部品向け露光用UVランプは堅調に推移(5G、IoTの進展)
- シネマ用ランプは大幅に減少(固体光源の採用増加、コロナ禍の影響)

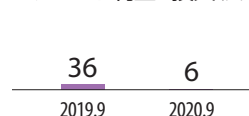
#### ハロゲンランプ

- OA機器は減少(ペーパーレス化、コロナ禍の影響)

売上高<sup>※1</sup>(億円)



セグメント利益・損失(億円)



### 今後の見通し

- ・シネマ用ランプは、不透明な事業環境が継続(上限)第3四半期より再開範囲が拡大。スクリーン稼働も回復傾向(下限)第3四半期から第4四半期にかけて緩やかに再開範囲拡大も、スクリーン稼働は低調のまま推移
- ・UVランプは、半導体を中心に需要は緩やかに増加
- ・データプロジェクター用ランプは低調
- ・OA用ランプは、緩やかに回復傾向

### 予想売上高

| 2021年3月期通期予想 | 上期実績 | 進捗率(%) <sup>※2</sup> |
|--------------|------|----------------------|
| 440~470      | 210  | 46.3                 |

## 光学装置事業

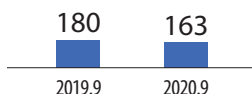
- 半導体、フラットパネルディスプレイ (FPD)、電子部品製造用各種光学装置 (露光装置、光洗浄ユニット、光硬化装置など)
- 紫外線治療器など医療機器
- EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源



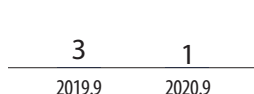
### 当期の業績

- 分割投影露光装置、直描式露光装置は増加 (5G、IoT進展)
- EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源は増加 (次世代半導体の量産ニーズ増加)
- 液晶関連装置は減少 (大型投資が一巡)

売上高<sup>※1</sup> (億円)



セグメント利益・損失 (億円)



### 今後の見通し

- ・最先端ICパッケージ基板向け投影露光装置は、販売増加
- ・EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源は、計画通り堅調に推移
- ・プリント基板向け直描式露光装置は、5G需要で緩やかに拡大
- ・前期に拡大したフレキシブル基板向け投影露光装置は、投資一巡し低調

### 予想売上高

| 2021年3月期通期予想 | 上期実績 | 進捗率 (%) <sup>※2</sup> |
|--------------|------|-----------------------|
| 400~420      | 163  | 39.9                  |

## 映像装置事業

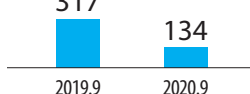
- デジタルシネマプロジェクター (DCP)
- 一般映像用デジタルプロジェクター、コントロールルーム、シミュレーター、デジタルサイネージ、バーチャルリアリティシステム、プロジェクション・マッピング



### 当期の業績

- デジタルシネマ用、一般映像用ともに、大幅な減少 (コロナ禍による映画館・商業施設の休業およびイベント自粛の長期化)

売上高<sup>※1</sup> (億円)



セグメント利益・損失 (億円)



### 今後の見通し

- ・映像装置はシネマ用ランプと同様、徐々に映画館再開も、不透明な事業環境継続により投資は鈍化傾向が続く
- ・アミューズメントパークなど商業施設や企業向け投資は徐々に再開も、例年を下回り推移
- ・イベント自粛は継続
- ・販売拠点の見直しなどの対策は継続

### 予想売上高

| 2021年3月期通期予想 | 上期実績 | 進捗率 (%) <sup>※2</sup> |
|--------------|------|-----------------------|
| 270~300      | 134  | 47.1                  |

※1 外部顧客への売上高を記載しています。 ※2 通期予想の中央値で試算。



# 特集 IoT/5Gを支えるウシオの最先端半

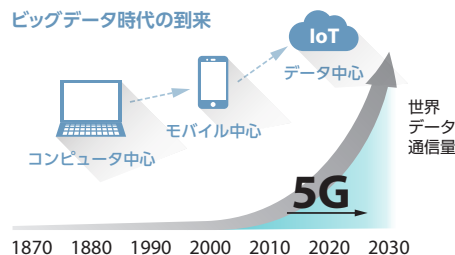
## ◆ ビッグデータ時代の到来 ～半導体の技術革新をウシオは支えています～

IoT (Internet of Things) で自動車～ヘルスケア・産業機器などすべてにおいて人とモノがつながり、さまざまな知識や情報がビッグデータとして共有され、あらゆる場所で今までにない新たな価値や社会の在り方が生まれています。それを支える人工知能 (AI) の普及や、次世代高速通信規格である5G対応の準備も着々と進んでいます。

IoT社会では、半導体・センサーなどの種類や数が飛躍的に増加し、記憶容量の増大、通信速度の高速化、高信頼性、低消費電力化など、あらゆる面での技術革新が求められています。

ウシオは、最先端の半導体プロセスに、光技術を通じて貢献しています。

### ビッグデータ時代の到来



● IoTの普及によりビッグデータ時代が始まる

## 次世代半導体プロセスには必要不可欠なウシオのEUV (極端紫外線) 光源

世界シェア  
100%

### EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源



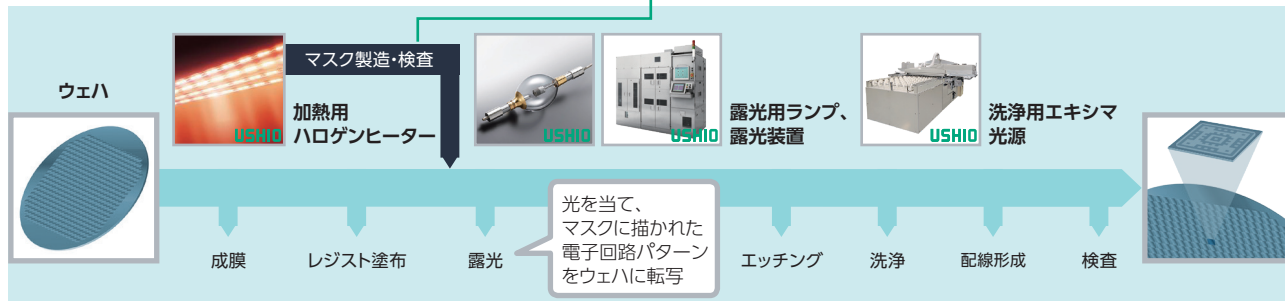
ますます微細化が進む次世代半導体の製造技術として、波長13.5nmEUVによる「EUV露光」が注目されています。

EUV露光の量産技術確立には、高精細なマスクの欠陥を検査・検出するためのEUVリソグラフィマスク検査用EUV光源の実用化が必須とされており、ウシオのEUV光源が選ばれています。

### USHIOの強み

- ☐ コンパクトかつ高輝度・高出力化技術  
ー 約20年近い開発・技術の蓄積
- ☐ 半導体業界での長いビジネス経験

## ◆ 半導体製造プロセス (前工程)





# 導体向け「光」技術

## ますます高密度化する半導体パッケージ・プリント基板製造を支えるウシオの露光機

### 最先端ICパッケージ基板向け 投影露光装置

#### USHIOの強み

- 他に類を見ない  
大面積投影レンズで高精度  
かつ高生産性を実現

世界シェア  
※  
95%



※ハイエンドBGA基板露光市場(自社調べ)

### プリント基板・パッケージ基板向け ダイレクトイメージング 露光装置

#### USHIOの強み

- 高精細描画と  
高速露光の両立

世界  
最高速

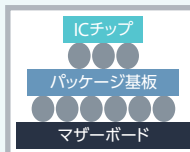


今後、IoTや5Gの進展に伴い、大容量かつ高速でのデータ処理に対応したデータセンター向けサーバーやさまざまな電子機器に使われるパッケージ基板やプリント基板の需要は増加し、より高密度なパッケージを求められています。

ウシオの露光装置は、独自の光学技術で、半導体を実装する最先端パッケージ向けの露光プロセスに採用されており、今後もさらなる需要拡大が期待されています。

## ◆ 後工程プロセス (パッケージ・プリント基板)

### 半導体パッケージ 製造プロセス



### 露光工程



### プリント基板 製造プロセス



### 実装 検査など



# Topics

## ◆ 殺菌・ウイルス不活化ソリューションCare222®の最新情報



### 安心・安全な環境づくりを。 東芝ライテックと協業

当社と東芝ライテックは、Care222®光源モジュールを搭載した紫外線除菌・ウイルス抑制装置の共同開発ならびに、自動車および鉄道車両に搭載する同装置や一般照明器具の開発に関して業務提携いたしました。これにより、自家用車や通学バス、満員電車内などの交通・移動空間での、新型コロナウイルスをはじめとしたウイルスや細菌への感染リスク低減、学校や商業施設などの公共空間でのパンデミック防止など、安心・安全な環境づくりに貢献する商品・サービスの提供を目指します。

**USHIO TOSHIBA**



### 広島大学で新型コロナ ウイルス不活化を確認

広島大学病院感染症科の北川浩樹診療講師、野村俊仁診療講師、大毛宏喜教授と、広島大学大学院医系科学研究所ウイルス学の坂口剛正教授のグループは、紫外線照射装置Care222®を用いて、中心波長222nm紫外線による新型コロナウイルス不活化効果を世界に先駆けて明らかにし、その研究成果が2020年9月4日(米国現地時間)にAmerican Journal of Infection Control誌のオンライン版に掲載されました。

本研究により、222nm紫外線を用いた新型コロナウイルス感染症に対する対策への応用が期待されます。



### 加賀市医療センターが新型コロナウイルス感染防止対策として導入。 飛沫感染や接触感染のリスク低減へ



天井に設置されたCare222®U3ユニット

自動精算機周辺

石川県に加賀市医療センターでは、Care222®U3ユニット30台を設置し、2020年10月7日より稼働を開始しました。

これは、ウィズコロナ時代の新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、加賀市が全国の自治体に先駆けて加賀市医療センターに導入したもので、飛沫感染や接触感染のリスクが高いとされている受付カウンターや再来受付機・精算機周辺、ならびに発熱・救急待合などに設置されました。



## クリスティ・デジタル・システムズが Care222®搭載UV照射器の量産販売を2021年1月から開始

クリスティ・デジタル・システムズは、映画館やテーマパーク、美術館、スポーツ施設などの屋内空間向けに、Care222®光源モジュールを搭載したUV照射器「Christie® CounterAct™」の北米での量産販売を、2021年1月から開始します。

一般的な照明器具と同様に天井への設置や遠隔制御が可能で、ロビーや観客席、トイレ、その他の屋内スペースを含め、さまざまな娯楽施設や商業施設への設置・使用に最適化したデザイン・設計となっています。

※日本を含む北米以外での販売開始時期は未定です(2020年11月現在)。



UV照射器「Christie® CounterAct™」

## 新任社外役員(取締役)紹介

### 杉原 麗 社外取締役(監査等委員)

7月発表の中期経営計画では、コロナ禍後の中長期的成長への強い危機感と、これを克服するための既存ビジネスの収益強化、構造改革、そして新成長ビジネス推進のための集中投資の方針が示されました。今後、構造改革や成長ビジネスがどのようにスピード感をもって適正に実現されていくのか、検証していかなければなりません。コロナ禍の長期化という未知の領域下では、さらにさまざまな課題も生ずることと思います。

監査等委員取締役としての私の務めは、コンプライアンスの観点から、また株主および広く社会の視点から、こうした業務執行のモニタリングをすることです。法律家としての経験や人事労務等会社法務の知識を活かしてまいります。そうすることによって、ウシオ電機の頑張りと変革を助け、企業価値の向上と将来の発展のため力を尽くしてまいります。



### 須永 明美 社外取締役(監査等委員)

私は公認会計士として監査法人に勤務した後、26年前に独立開業し、会計事務所やコンサルティング会社、監査法人を経営しております。財務経理の専門家としての知見や経験はもちろんのこと、企業経営に携わる経験を、社外取締役監査等委員として貢献できればという思いで就任させていただきました。

会社の役員として感じられる企業風土や技術、人事を含めた幅広い情報と、その上で社外役員だからこそ気づかされることなどは、単なる第三者としての指摘にとどまることなく、企業価値を向上させる目標に沿う形になるよう、積極的にかかわり貢献できたらと願っております。



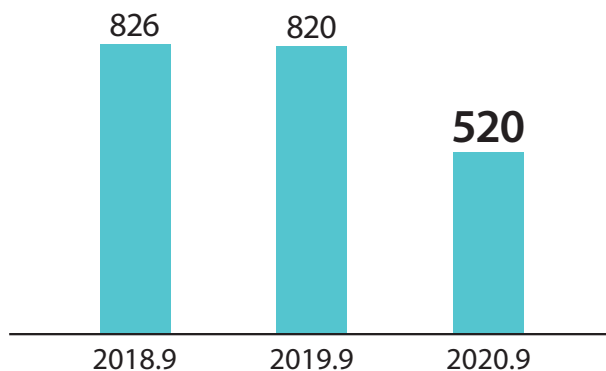
# 決算の状況

決算情報の詳細は当社ホームページに掲載しています。  
<https://www.ushio.co.jp/jp/ir/>

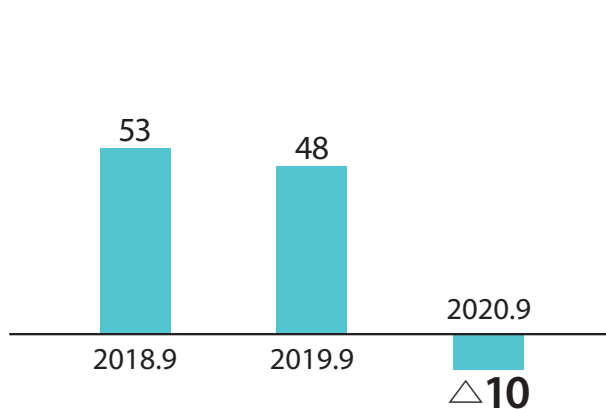
## ◆ 売上高・利益の推移 (億円) ※第2四半期累計

■ 売上高

前年同期比  $\Delta 36.6\%$  ↓

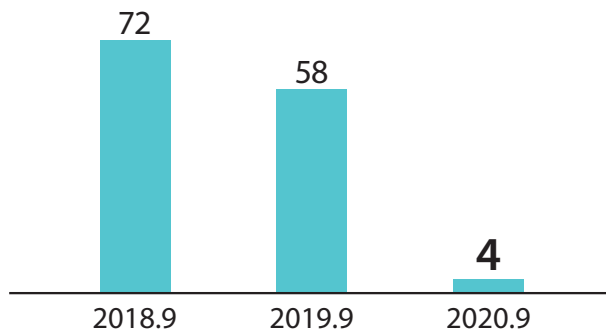


■ 営業利益・損失

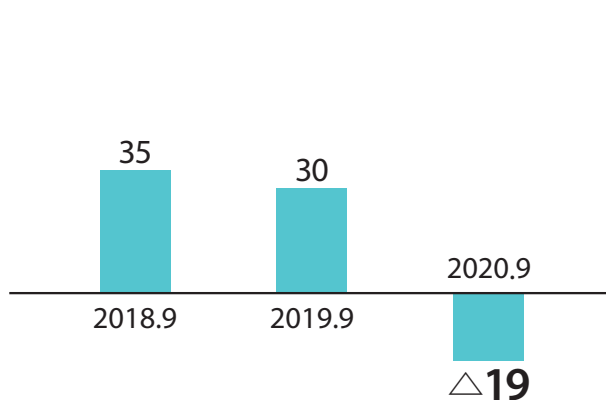


■ 経常利益・損失

前年同期比  $\Delta 93.1\%$  ↓

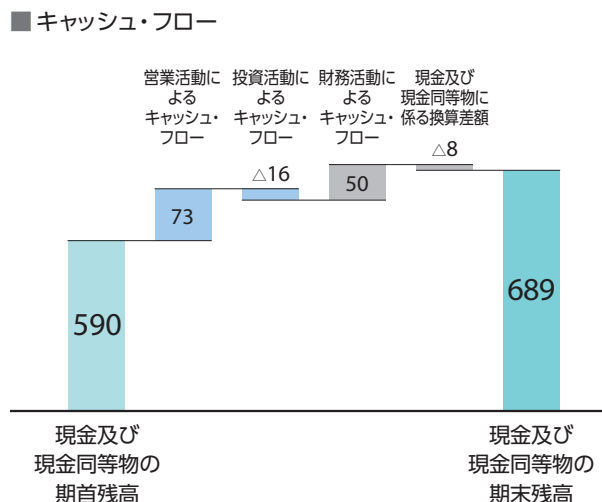
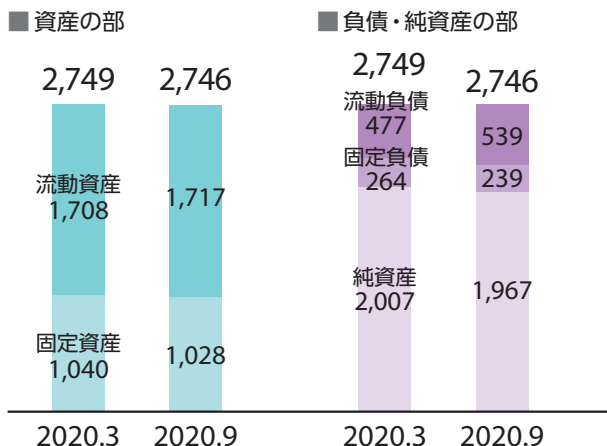


■ 親会社株主に帰属する四半期純利益・損失





## ◆ 貸借対照表、キャッシュ・フロー (億円)



### 財務担当役員からのメッセージ

2021年3月期第2四半期の当社連結業績は、コロナ禍の影響を大きく受け、大幅な減収および減益・損失となりました。映像関連事業で第1四半期から大きく影響を受けており、映像装置およびシネマ用ランプの販売が大幅に減少しています。そのため、コロナ禍関連の計上として営業外収益で雇用調整による助成金、特別損失では各国でのロックダウンに伴う臨時休業による損失を計上、また中期経営計画の施策として映像装置事業で構造改革を実施したことによる事業構造改善費用を計上しました。

当期は、年間をとおしてコロナ禍による影響を大きく受けると予想しています。シネマ分野では徐々に映画館の再開は進み、回復傾向にはあるものの、地域毎のコロナ禍の影響および経済回復が不透明な状況により、第3四半期から徐々に映画館の再開範囲が拡大するという上限シナリオと、第3四半期から第4四半期にかけて緩やかに再開範囲が拡大するものの、第4四半期までスクリーン稼働は低調に推移するという下限シナリオを想定しています。また、映画館閉鎖・稼働低下等による経営状況の悪化により、映像装置の新規・置き換え投資も抑制・鈍化する見込みです。一方で、光学装置事業は堅調に推移する見込みで、最先端ICパッケージ基板向け投影露光装置やEUVリソグラフィマスク検査用EUV光源、直描式露光装置などは、上期より下期に販売が増加する見込みです。

前号でもご紹介した殺菌・ウイルス不活化ソリューションCare222®は、皆

様から大きな反響をいただいております。今号のTopicsにて今日までの最新状況をご報告しております。事業の進捗状況としましては、当初の計画通り9月よりユニットタイプの販売を開始しており、12月末にはモジュールの供給開始を予定、2021年初旬以降そのまま提携パートナー様によりCare222®を搭載した製品が展開される予定です。また、多くの引き合いのもと事業を進める中で、重点課題も見えてまいりました。紫外線そのもののへ抵抗感をお持ちの方々に対する安心感の醸成、殺菌・ウイルス不活化ソリューションとしてのさらなる認知度の向上、さまざまなシーンに合わせた最適な照射方法の提案・ノウハウの蓄積が必要であること、などです。これらの課題への対応を進め、2023年3月期の売上目標である100億円以上を目指して、着実に事業拡大を目指してまいります。

なお、株主還元については、新型コロナウイルスによる厳しい事業環境が想定されるものの、安定かつ継続的な還元方針に則り、今期の1株当たり配当額は、26円を維持させていただき考えています。また、新中期経営計画の達成及びその先の持続的な成長を成し遂げていくための事業投資を積極的に行うことで、今後も、安定かつ継続的な株主還元を目指してまいります。

上級執行役員 経営統括本部長 朝日 宗文



# 株主さまとともに

## 株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行済株式総数 ..... 127,000,000株

株主数 ..... 29,373名

### 大株主の状況 (200万株以上)

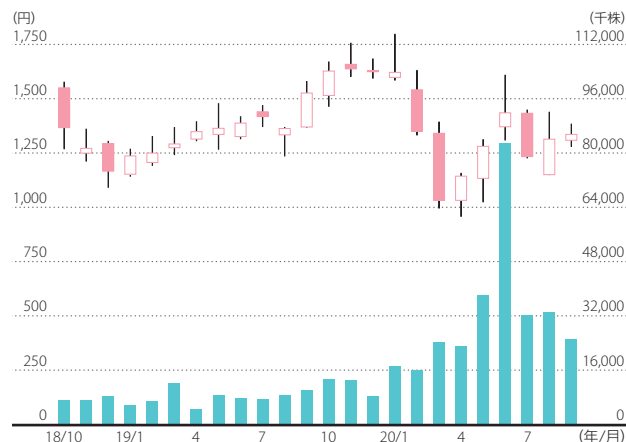
| 株主名                                       | 株式数<br>(千株) | 持株比率<br>(%) |
|-------------------------------------------|-------------|-------------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)                  | 11,764      | 9.73        |
| 株式会社りそな銀行                                 | 6,032       | 4.99        |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社                        | 4,274       | 3.53        |
| 株式会社三菱UFJ銀行                               | 4,248       | 3.51        |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託口)                       | 3,507       | 2.90        |
| 朝日生命保険相互会社                                | 3,305       | 2.73        |
| ビービーエイチルクス フィデリティ ファンズ<br>グローバルテクノロジー プール | 3,033       | 2.51        |
| 牛尾治朗                                      | 2,636       | 2.18        |
| 公益財団法人ウシオ財団                               | 2,400       | 1.98        |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)                      | 2,301       | 1.90        |
| GOVERNMENT OF NORWAY                      | 2,284       | 1.89        |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託口7)                      | 2,257       | 1.86        |

※上記のほか、自己株式が6,171千株あります。なお、自己株式6,171千株には、役員向け株式報酬信託制度に係る信託が所有する当社株式279千株を含んでおりません。

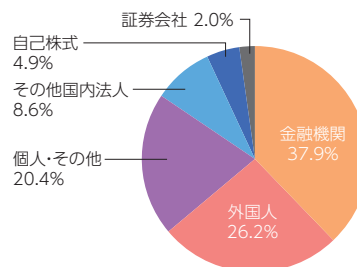
※持株比率は、自己株式6,171千株を控除して計算しております。

※大株主上位に記載されている各信託銀行は、主に国内機関投資家が保有する有価証券の管理事務を行っており、当該機関投資家の株式名義人となっているものです。また信託口とは、当該機関投資家から年金信託、投資信託、特定金銭信託等の信託を受けている口座を指します。

### 株価の動き／株式売買高



### 株式の分布状況



## 株主メモ

|         |                                                                                                                                  |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 証券コード   | 6925                                                                                                                             |
| 事業年度    | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                |
| 定時株主総会  | 毎年6月                                                                                                                             |
| 基準日     | 定時株主総会 毎年3月31日<br>期末配当 毎年3月31日<br>その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。<br>なお、中間配当制度は採用しておりません。                                               |
| 1単元の株式数 | 100株                                                                                                                             |
| 公告掲載URL | <a href="http://www.ushio.co.jp/kokoku">http://www.ushio.co.jp/kokoku</a><br>※やむを得ない事由により上記URLにおいて公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |

|                            |                                                                                                                 |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 株主名簿管理人<br>および特別口座<br>管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社                                                                               |
| 〈郵便物送付先〉                   | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部                                                                 |
| 〈電話照会先〉                    | <b>0120-782-031</b> (フリーダイヤル)<br>受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く)                                                       |
| 〈ホームページURL〉                | <a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>     |
| 〈よくあるご質問(FAQ)〉             | <a href="https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal">https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal</a> |

### 各種お手続きに関するお問合せ先

| お問合せの内容                                           | 一般口座<br>(証券会社の口座に記録された株式) | 特別口座<br>(証券会社に口座のない株式) |
|---------------------------------------------------|---------------------------|------------------------|
| ・住所・氏名等の変更<br>・単元未満株式の買取請求<br>・配当金の受取方法の指定<br>・相続 | お取引の証券会社                  | 三井住友信託銀行               |
| ・一般口座への振替                                         | —                         |                        |
| ・支払期間経過後の配当金                                      | 三井住友信託銀行                  |                        |

# 会社概要

設立 1964年3月  
資本金 19,556,326,316円

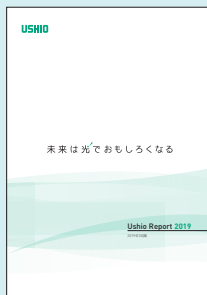
役員(2020年9月30日現在)

|                  |           |
|------------------|-----------|
| 代表取締役社長          | 内 藤 宏 治   |
| 代表取締役            | 川 村 直 樹   |
| 取締役              | 神 山 和 久   |
| 取締役              | 牛 尾 志 朗   |
| 社外取締役            | 原 良 也     |
| 社外取締役            | 金 丸 恭 文   |
| 社外取締役            | 橘・フクシマ・咲江 |
| 社外取締役            | 佐々木 豊 成   |
| 取締役<br>(常勤監査等委員) | 小 林 敦 之   |
| 社外取締役<br>(監査等委員) | 杉 原 麗     |
| 社外取締役<br>(監査等委員) | 須 永 明 美   |

従業員数(2020年9月30日現在)

|         |        |
|---------|--------|
| ウシオ電機本体 | 1,721名 |
| 国内グループ計 | 745名   |
| 海外グループ計 | 2,736名 |
| 合計      | 5,202名 |

## オフィシャルWebサイトもご活用ください



### Ushio Report 2019

<https://www.ushio.co.jp/jp/ushioreport2019.pdf>



### 投資家情報

社長メッセージや決算資料など、  
さまざまな情報を掲載しています。

<https://www.ushio.co.jp/jp/ir/>



### CSR・環境

環境保全、社会貢献、  
安全への取り組みなど、  
さまざまな情報を掲載しています。

<https://www.ushio.co.jp/jp/csr/>



発行: ウシオ電機株式会社 経営企画部  
〒100-8150 東京都千代田区丸の内1-6-5  
TEL: 03-5657-1007 FAX: 03-5657-1020

 <https://www.ushio.co.jp>



公式facebook

<https://www.facebook.com/ushio.group/>



この印刷物は、環境に優しい用紙と、ベジタブルインキを使用しています。